

Kayak Dog

[Home](#) ▶ [工房 "KAYAK9"](#) ▶ [Wood Duck 12の製作](#) ▶ (2) ボトムパネル組み立て

(2) ボトムパネル組み立て

2011年 9月 01日(木曜日) 20:29 | Author: サセックス卿 | [📄](#) [📄](#) [📧](#)

2枚のボトムパネルを合わせてスティッチし、本のように開くとボトム形状が出現。そこにバルクヘッドと3枚のフォームを立てて固定し、その角度で船底ラインが出来上がる。船台に乗せてあるしフォームでパネルの開き具合が決まるからと、パウおよびスターンは後回しにして、気楽に銅線を(緩く)締めていく。パネルは意外とキッチリあっているものの不具合が・・・

船腹が一番広いコックピットあたりにどうしてもパネルの隙間ができてしまう
パネル突き合わせ部(特に中央付近)のベベルカット45度というのはちょっと角度があまりすぎでした

ここはバルクヘッドとフォームの間なので、重みでパネルが下がってしまうらしい。まあきつく銅線を締めればなんとかかなるかなあと思いつつフォームも固定してみるが、船体の形状を決めるバルクヘッドとフォームの取り付け位置がイマイチ決まらない。どうしたもんだろう?このまま進めていってもなんとかかなるかな?



メインメニュー

[Home](#)

[工房 "KAYAK9"](#)

[Wood Duck 12の製作](#)

[カヤック製作準備](#)

[アトリエ](#)

[情報源](#)

[アマゾン号に乗りたい!](#)

[コンタクト](#)

[プロフィール](#)

[ブログフィード](#)

[Links](#)



と思いつつもやっぱり方針変更。どこかに基準がないといけないから、

バルクヘッドを基準とすることにして、船台にパネルごとクランプして固定する

パネルにバルクヘッド、フォームの取り付け位置の線を引いておく

パネルが垂れ下がらないようにつかえをしておく

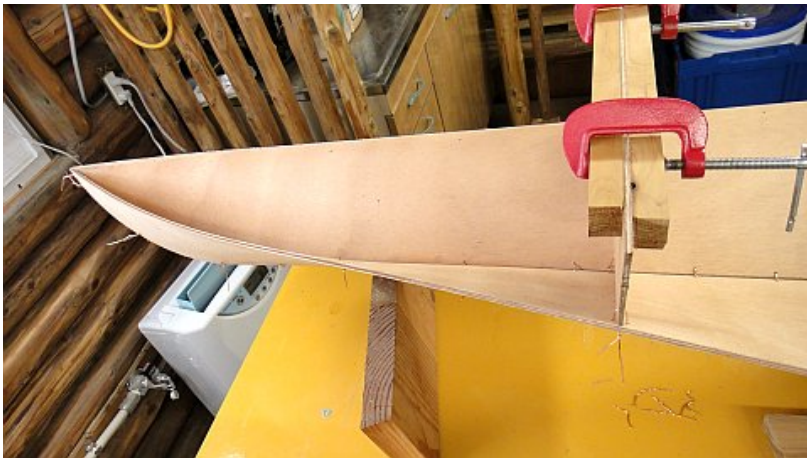
フォームの下部、キールラインとなる鋭角部がパネルに食い込まないように注意する

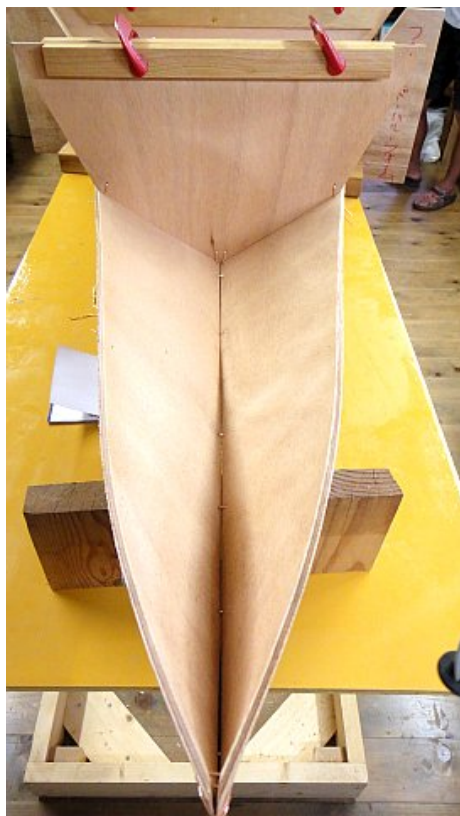
すでにスティッチした銅線をカットしてやり直しました。





ボトムパネルのバウとスターンは、お湯で湿らせて曲がりやすくしてから助手と二人がかりで押ししたりスティッチしたりしました。下の写真はバウのボトムパネルですが、曲げるだけでなく「ひねって」いるのが分かるでしょうか。この船の特徴だと思われるバウ、スターンに向かうカーブがきれいに出ています。こうして両端を合わせると（当然ですが）僅かなロッカー（反り）がでて、スターンが船台から浮き上がってきました。





船底ができたけど、これだけでも船ができた気がする。

最終更新 (2011年 9月 02日(金曜日) 10:07)

© 2009 [Kayak.Dog](#)
All Rights Reserved.

powered by Joomla
free templates by Deposit Poker & Unlimited Web Hosting